

## 徳島県神山町の

## U・I・ターイン対策

全国的な人口減少の中で、奥出雲町も少子高齢化が進んでいることから、若者定住対策、町内就職の促進、空き家の活用等で実績をあげている先進地視察を行いました。

神山町は徳島市から車で40分程の山あいの町で人口6千126人、世帯数2千595世帯、面積173km<sup>2</sup>の奥出雲町の約1/2の町です。

果実の生産が盛んで、スタチは徳島県内の生産量の24%を占め日本一です。昭和30年代以降は若者の流出が続いたため、人口は6千人余りまで減少し高齢化率は46%となっております。

しかし町からの移住支援事業を受託したNPO法人グリーンバレーの活動により、平成23年、初めて町外に出る人よりも町内に入ってくる人が多くなりました。

NPO法人グリーンバレーの取

り組みは、「日本の田舎をステキに変えること」であり

(1)「人」をコンテンツにしたクリエイティブな田舎づくり

(2)多様な人の知恵が融合する

「せかいのかみやま」づくり

(3)「創造的過疎」による持続可能な地域づくりの三つのビジョン

を掲げ「神山で暮らす」「神山への移住」を前面に打ち出し町にとって必要な働き手や起業家を逆指名し、過疎の町で二つの異変が起き、町史上初の人口増加と、1丁企業10社の誘致につながりました。



空き家を活用したサテライトオフィス（神山町）

## 徳島県上勝町の

## 彩(いろどり)事業

上勝町は徳島市から車で1時間程の山あいの町で人口1千823人、世帯数854世帯、高齢化率50%ですが「葉っぱビジネス」の町として有名になりました。

中山間地の地域再生のユニークな成功事例として、葉っぱビジネスは全国から注目されています。

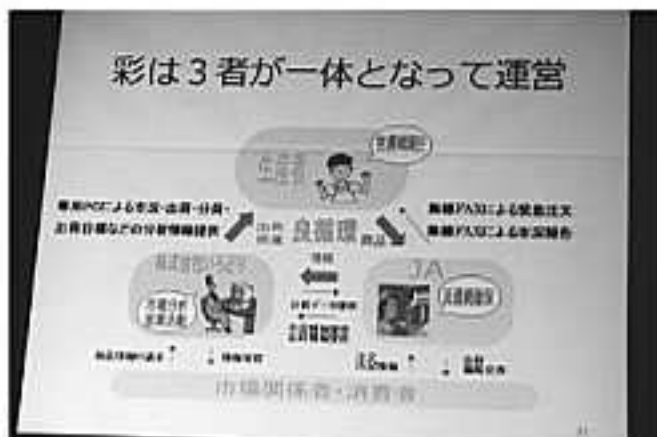
葉っぱ(つまもの)を中心に地域資源をビジネス展開した「いろどり事業」は、紅葉、柿、梅、南天や梅核、桃の花など320種類もの生産販売を農商工連携の取り組みで20年近く展開しています。

農協で収集した販売単価や出荷数量などのデータをいろどりで分析し農家へ伝達、農家はこれを翌日の生産量や品目の選定の目安にしています。彩事業は、農家・農協・いろどりの三者が一体となって運営されています。

また、出荷・受注業務を効率化する

るため、防災無線FAXやパソコンを積極的に導入し、光ファイバーを使った新しいシステムも、高齢者にも使えるよう工夫されています。

現在の販売額は2億6千万円です。年収1千万円を稼ぐおばあちゃんもいます。生きがいと健康増進につながり、寝たきりゼロの町となっております。



彩(いろどり)事業の仕組み(上勝町)